

講師 長澤真史 氏

場所 国分総合福祉センター

SCERTSモデルの領域

Social	
Communication	社会コミュニケーション
Emotinsol	
Regulation	情動調整
Transactional	
Suorrt	交流型支援

学祭的アプローチ

発達理論

学習理論

臨床データ

NRCによる総括的評価・提言

⇒SCERTSモデル ◎いろいろな資源を組み合わせて統合的にしている

3つの段階

社会パートナー段階 言語以前の段階

言語パートナー段階 言語発達の初期の段階3語以上

会話パートナー段階 文や談話の段階100語以上

☆軸になるもの☆ **Active Engagement**

Engagement:関与、参加、関わり

Active:能動的、積極的、作動している

⇒本人にとって理解可能な、意味のある、目的のある、動機づけられた活動に、情動的に安定し、自ら主体的に関与している状態と言い換えることができる

積極的な参加を促進し子どもの持つ能力を伸ばされたとき結果的に子どもの能力が最も発達する

→能動的に参加することが最終的な目標

社会的コミュニケーション領域

子どもが自信を持って積極的に社会的に参加することを支える

・共同注意・・・社会コミュニケーション領域の構成要素であり「何のためにコミュニケーションするのか」を扱う

・シンボル使用・・・どうやってコミュニケーションするのか

情動調整領域

情動の覚醒を調整する子どもの能力を支援

子どもの学習可能性を支える必要不可欠な能力

- ・相互調整 パートナーとの間での調整
- ・自己調整 自分での調整

交流型支援領域

- ・対人間支援：パートナーの関わり方
- ・学習支援：最適な学習環境
- ・家族支援：教育的・情緒的なサポート
- ・専門家間支援：教育的・情緒的なサポート

発達とは子どもと文脈との間の相互作用の中で影響を与えながら発達していく

大人がいつものやり方で進めたりしていないか、こちらが変わっていくことが必要

SAP-Oについて

- ・厳密にしないといけないというよりやれるならやってみようというスタンスが大事
- ・場面は2つ以上、日にちは2日に分ける（2時間以上、3時間以上など）
- ・身近な人とそうでない人の場合など
- ・いきなりスコアリングするよりも気になる感覚やエピソード的に記載する、それからスコアリング、できる範囲でよい
- ・評価は何回しないといけないといった決まりはない（年4回とあるが先生方もそれは重視していない）